

二〇一〇年金者一揆宣言

今日、10月15日、全国で1万人の高齢者があふれる思いをもって、集まった。

異常に暑かった今年の夏、76才の高齢者が電気を切られた部屋で死亡していた。熱中症で搬送された人約4万人、死亡した人約500人。その多くが高齢者だった。

所在不明の高齢者多数。行方不明になっても放置される高齢者がこんなに多数いることが国中に衝撃を与えた。

いま、無年金の高齢者は約100万人、年金が低すぎる人が大多数。不況で仕事はなく、子どもにも頼れない。高齢者の多くがぎりぎりの収入で、夏の暑さに耐え、冬の寒さに耐えて暮らす。税金と保険料は容赦なくとられ、残った年金でやりくりの毎日。医者にかかりたくても、医療費がない。介護が認定されても、利用料が払えない。介護が原因の自殺や他殺事件があとをたたない。

年金が少なすぎる。これでは暮らしていけない。高齢者の悲鳴が聞こえる。急いで最低保障年金をつくれ。年金を引き上げろ。

後期高齢者医療制度は廃止という公約を破った民主党政権。新しい制度をつくるというが、やはり75才以上の医療費は別立ての運営。費用の負担を高齢者にも負わせる。保険

- 1 -

料が上がる。負担に耐えられなければ、医療費は使えない。国の広域化で、市町村からの財政支援がなくなり、保険料や窓口負担の軽減措置がなくなり、保険料の徴収はきびしくなる。

後期高齢者医療制度をすぐなくすことが先決だ。国民の声をよく聞き、安心できる医療制度にしてほしい。

高齢者をもっと大事にせよ。国の税金は優先して、年金・医療・介護に使い。私たちは、そのことをくりかえし訴えよう。いまの若者も、将来は高齢者になる。今も、将来も、安心して暮らせる社会にしよう。そのために、高齢者と若者は団結し、仲間を増やして、声をあげよう。

* 後期高齢者医療制度はすぐ廃止しろ。 **すぐ廃止しろ。**

* 消費税によらない最低保障年金をつくれ。 **最低保障年金をつくれ。**

* 生活実態にあわせて年金をあげろ。 **年金をあげろ。**

* 高齢者をもっと大事にしろ。 **大事にしろ。**

* 若者をもっと大事にしろ。 **大事にしろ。**

* 高齢者と若者は、安心できる高齢期のために **ただかっぞ。**

ただかっぞ。

* 仲間づくりの月間を成功させ、仲間をふやして **ただかっぞ。**

ただかっぞ。

- 2 -